

2021年11月14日

国立循環器病研究センターで心臓外科手術を受けられた患者様・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身あるいはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】当院病理部にて、当センター開設時から2022年12月31日までに心臓腫瘍と診断され当院心臓血管外科において腫瘍摘出手術を施行された方

【研究課題名】当院40年間で経験した心臓粘液腫の臨床病理形態学的検討

【研究責任者】国立循環器病研究センター 病理部 部長 畠山金太

【研究の目的】病理形態学的検討を行うことにより、心臓粘液腫の塞栓性合併症のリスク因子(肉眼的形態について：大きさ・形態・性状・部位など)を明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、将来的に心臓粘液腫の有効な診断や治療法及び塞栓性合併症の予防法の確立に繋がることが期待されます。

【利用する試料・診療情報】心筋病理組織標本のデジタル画像情報、心筋病理組織像、診断名、死亡原因、年齢、性別、身長、体重、薬物治療歴、既往疾患、家族歴、合併症、生理検査(心電図)、心臓超音波、放射線検査(胸部レントゲン・CT・MRI)、血液・尿検査データ(肝・腎機能、脂質代謝、糖代謝、貧血、炎症所見、BNP、甲状腺ホルモン、IL6、尿所見)、予後情報、粘液腫の再発の有無、心血管系イベントの有無(急性心筋梗塞、不安定狭心症、冠動脈バイパス術・経皮的冠動脈形成術の施行、脳卒中)、塞栓症イベント(脳梗塞、腎梗塞、脾梗塞、下肢動脈塞栓症)の有無

【研究期間】研究許可日より2024年12月31日まで(予定)

【個人情報の取り扱い】お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト(<http://www.ncvc.go.jp>)の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】国立循環器病研究センター 病理部 部長 畠山金太

電話 06-6170-1070(代表)